科目番号	59017	分類	専門科目 臨床看護学	履修者	看護学研究科博士課程	学年
科目名	成人・老年看護学 （Adult and Gerontological Nursing）					1 配当セメスター 通年

担当者	○竹内　朋子　他１名	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概要】 成人・老年看護学における諸課題の歴史的経緯と最新の動向を多角的に分析する。さらに、成人・老年看護学における今日的課題に対して、問題解決につながるエビデンスを創出するための研究能力を養う。 【目標】 1．成人・老年看護学における諸課題について、歴史的経緯と最新の動向にもとづいて説明できる。 2．成人・老年看護学における今日的課題を解決するための研究アプローチを提案できる。	○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 人間の発達段階に応じた看護学に関する研究能力
		3. 地域社会の保健ニーズに即した実践的研究教育能力
	○	4. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
		5. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担う事ができる能力
		6. 実践を行いながら学部学生の臨地実習を指導できる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１・２回	成人看護学における諸課題の歴史的経緯と最新の動向	竹内 他１名
第３・４回	成人看護学における今日的課題に関する研究の動向（国内）	
第５・６回	成人看護学における今日的課題に関する研究の動向（海外）	
第７・８回	成人看護における今日的課題を解決するための研究アプローチ	
第９回	老年看護学における諸課題の歴史的経緯と最新の動向	
第１０・１１回	老年看護学における今日的課題に関する研究の動向（国内）	
第１２・１３回	老年看護学における今日的課題に関する研究の動向（海外）	
第１４・１５回	老年看護における今日的課題を解決するための研究アプローチ	

事前・事後学習	事前学習：文献や書籍にて各回のテーマについて把握したうえで、各自の学習ポイントを抽出しておく。また、指定された課題を提出する（評価対象）。 事後学習：文献や書籍、講義資料等から講義内容を復習する。また、指定された課題を提出する（評価対象）。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと
評価の方法	プレゼンテーション、ディスカッション、課題の成果から総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書 ・資料等	・Clifford S. Deutschman：Evidence-Based Practice of Critical Care（Elsevier） ・Judith Carrier：Managing Long-term Conditions and Chronic Illness in Primary Care: A Guide to Good Practice（Routledge） ・Eduardo Bruera（Ed.）：Textbook of Palliative Medicine and Supportive Care（CRC Press） ・Alfred Adler：The Science of Living（Martino Publishing Mansfield Centre） その他適宜紹介する。
備　　考	授業はゼミナール形式で行なう。 オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。